

## ワークショップについて

「松江市で再生可能エネルギーを普及させるために必要なこと」をテーマにワークショップを行いました。再生可能エネルギーを普及させるための方法や実際に自分達（市民）が実践できることについて市民目線で意見を出してもらいました。なお、参加者は「学生版自分ごと化会議」のメンバーを含めた市内の大学生 17 名で行いました。

### ●ワークショップの概要

- 参加者：** 市内の大学生 17 名（「学生版自分ごと化会議」のメンバーを含む）
- 日時：** 令和 4 年 10 月 3 日（月） 15:30～18:00
- 場所：** 松江市市民活動センター
- テーマ：** 「松江市で再生可能エネルギーを普及させていくために必要なこと」
- 進め方：** (1) 参加者を 3 グループに分ける。(2 グループは対面、1 グループはオンラインで実施)
- (2) 「再生可能エネルギーを普及させるための方法」についての意見を出し合う。
- (3) 出た意見の中から、「自分達（市民）が実践できること」について話し合う。



【ワークショップの様子】

### ●ワークショップで出た意見

ワークショップで出していたいただいた「再生可能エネルギーを普及させるための方法」について 3 つに分類しました。（下線の項目は、再エネ普及に向けて自分達（市民）が実践できることとして出た意見）

#### <分かりやすい情報の見せ方が必要>

- ・ 環境やエネルギーに関する情報は、世界や国などの規模の大きいものばかりで、市町村レベルの情報をもっと発信する必要があると思う。
- ・ 発電量や排出量のような大きな数字はイメージがしづらいため、身近なものに換算し例示できると分かりやすいと思う。
- ・ 難しい言葉が多く、「再生可能エネルギー」という言葉の意味を理解していない人もいると思う。4 コマ漫画や写真を活用するなど視覚的に分かりやすい表現が必要だと思う。

#### <様々な方法での情報発信・PRが必要>

- ・ SNS を活用した情報発信が有効だと思う。（Twitter・Instagram・YouTube など）
- ・ インフルエンサーに松江市の再エネ情報を発信してもらう。
- ・ 再生可能エネルギー由来の電力を使用して大学の建物をライトアップする。  
（使用した電力量に応じて点灯する色を変える。）
- ・ 祭りやイベントなどでブースを出展し松江市の再エネに関する取り組みを PR する。

#### <学習機会が必要>

- ・ 学校では、年齢に応じた内容で授業を行うと良いと思う。
- ・ 勉強会の開催や発電所見学などの機会があると興味を持つのでは。
- ・ ワークショップなど話し合いの機会があることが考えるきっかけになると思う。
- ・ 自分達で再生可能エネルギーについて調べてみる。

- 市民一人一人が、松江市の再生可能エネルギーに関する情報を「見る・聞く機会」を増やすことが大切。
- 年代によって、情報取得する方法は異なるため、様々な情報発信方法が必要。
- 子供から大人まで、年代に応じた学習機会があると市民全体の意識醸成につながる。
- 市民が再エネの普及に向けて実践できることは、「お金をかけずにできること」や「比較的小規模」なものが多い。
- 市民が行政や学校などと協力・連携するとより幅広い取り組みが展開できる。